

1月24日～30日 給食週間

おいしい給食いただきます!



1月24日 給食記念日  
マイおむすびで福島の郷土料理を食べよう  
(原町第三小学校)

# 学校給食の安全性

市では、給食で使用する食材の全品を検査する「食材事前検査」を行い、安全性が確認できたものを調理しています。さらに、給食で摂取した放射性物質の積算量を誰でも簡単に知ることができる「給食丸ごと一食検査」も実施しています。

## 食材事前検査

各給食調理施設に検査機器と検査要員が配置され、給食使用前に食材などの放射能分析を実施しています。

なお、分析結果は、市ホームページで掲載しています。

### 測定場所

給食調理実施校

### 測定方法

前日(当日朝)に給食に使用する食材を約1キログラム採取し測定します。

### 測定項目

セシウム134・137



▲おむすびに挑戦

### 検出限界

10ベクレル/kg

### 測定時間

3600秒(60分)

### 測定機器

NaI(Tl)シンチレ  
ション検出器  
(CANIOSPINAI)

## 給食丸ごと一食検査

### 一食検査

平成24年3月から提供した一週間分の給食を丸ごと検査しています。また、平成24年8月27日からは、福島県の「学校給食モニタリング事業」を受け、継続して給食の丸ごと検査を実施しています。

なお、検査結果は市ホームページと県教育委員会ホームページに掲載されています。

## 子供たちの安全を第一に

放射線から体を守るための取組みとして、安全な食材を確保するため産地の確認や食材の事前検査を行っています。このような安全確認によって、安心して子供たちに給食を提供することができます。

私たちは、それぞれの立場で子供たちの身体を守るために努めていますので、ご理解とご協力をお願いします。  
(福山桂子 主任栄養技師)

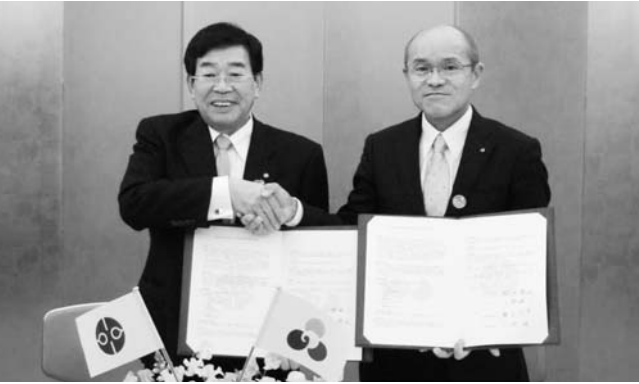


### 問合せ

学校教育課 ☎ 5 2 8 3  
幼児教育課 ☎ 5 2 4 2

# 災害時相互援助協定を 締結しました

問合せ 危機管理課 ☎ 5 2 3 2



市では、耶麻郡北塩原村と「災害時相互援助協定」を1月29日に締結しました。

北塩原村の休暇村裏磐梯で行われた締結式では、小椋眞北塩原村議会議長と横山元栄南相馬市議会議長が立ち合い、小椋敏一村長と桜井市長が協定書に署名し、固い握手を交わしました。

北塩原村は、東京都杉並区と協定を締結している自治体と共に「自治体スクラム支援会議」に参加し、昨年の発災以降、本市への支援をしていただきました。

## 災害時相互援助協定とは.....

災害時相互援助協定とは、地震などの大規模災害が発生し、被災自治体が自ら応急措置ができない場合に、救援資機材の援助や被災者を支援するものです。

応援の内容は、食糧や飲料水、生活必需品などの物資の提供、応援に必要な職員の派遣、災害救助ボランティアのあっせんなどを行います。



**北塩原村**  
人口 3,166人  
1,580人(男)  
1,586人(女)  
世帯数 1,091世帯  
(平成25年1月1日末現在)

北塩原村の気候は北日本型の積雪寒冷地地帯であり、積雪量は平均2m程度になります。西部北山地区では盆地気候、東部桧原・裏磐梯地区は夏涼しく冬雪深い山地特有の気候です。

## 食料事前検査

# 検査方法と結果

給食で使用する食料は、グループごとに同じ産地の食料を使用し、分担して検査します。

なお、鹿島区と小高区の小・中学校は、学校給食センターで調理しています。

### Aグループ

原町第一・第二小学校  
高平小学校

### Bグループ

大糞小学校、太田小学校  
原町第一・第三中学校

### Cグループ

原町第三小学校  
石神第一・第二小学校、  
原町第二中学校

### Dグループ

南相馬市学校給食センター



◀食料を約1kg刻み、マリネリ容器にすき間なく詰めます。



▶測定機器に容器をセットし、約60分かけて測定

## 1月23日の検査結果(市ホームページから)

	食料	産地	Cs134	Cs137
A	鶏肉	宮崎県	検出せず	検出せず
	小松菜	茨城県	検出せず	検出せず
B	糸こんにゃく	群馬県	検出せず	検出せず
	鶏挽き肉	宮崎県	検出せず	検出せず
C	小松菜	茨城県	検出せず	検出せず
	鶏挽き肉	岩手県	検出せず	検出せず
	鶏肉	岩手県	検出せず	検出せず
	小松菜	茨城県	検出せず	検出せず
D	減塩炊き込みワカメ	韓国国内鳴門	検出せず	検出せず
	鶏ムネ肉	青森県	検出せず	検出せず
	焼きちくわ	アメリカ	検出せず	検出せず